2026年10月29日
株式会社Photosynth

Akerunとジム専用AIカメラ「GYM DX」がAPI連携を開始
「共連れ」の防止や不正利用を可視化

～　Akerunの解錠ログとGYM DXのAI人数カウントを自動照合し、
非会員などによる不正利用のセキュリティリスクと収益損失を低減　～

株式会社Photosynth（本社：東京都港区、代表取締役社長：河瀬航大、以下フォトシンス）が提供する、スマートロックを活用したクラウド型の「Akerun入退室管理システム」（以下、Akerun）と、株式会社Opt Fit（本社：愛知県名古屋市、代表取締役CEO：渡邉昂希、以下Opt Fit）が提供するジム専用AIカメラ「GYM DX」（以下、GYM DX）が、API連携を開始しました。

この連携により、Akerunの解錠ログと、GYM DXのAIカメラが識別した実際の入館人数をほぼリアルタイムに照合することが可能になり、1回の解錠に対して複数名が入室／入館する「共連れ」を自動でスクリーニングし、把握が難しかった非会員などによる不正利用を可視化することで、適切な課金や注意喚起が可能になります。
また、完全無人運営または一部の時間帯を無人運営しているフィットネスジムなどでは、AkerunとGYM DXの連携機能を活用することで、「共連れ」によるセキュリティ上の懸念やビジネスにおける機会損失を防止でき、より安心安全かつ収益性の高いジム運営が可能になります。

AkerunとGYM DXの連携の概要は以下の通りです。

- Akerunの解錠ログとGYM DXのAI人数カウントの連携により、1回の解錠に対する実際の入室／入館の人数をほぼリアルタイムに照合することで、「共連れ」を自動でスクリーニング
- これまで把握が難しかった非会員などによる不正利用を発生日時や店舗ごとに可視化できるようになり、適切な課金や警告などの対応が可能
- 24時間運営のジムなどスタッフが常駐しない無人運営の時間帯でも、セキュリティの確保と不正利用の防止を両立でき、無人・省人運営でも安心安全と収益性の強化が可能

■ AkerunとGYM DXの連携の背景と連携内容

Opt Fitは、フィットネスジム専用のAIカメラを活用した総合型サービス「GYM DX」を開発・提供しています。GYM DXは、AIによる画像解析を通じて、異常検知による安全管理、マシンやエリアの利用率の分析、リアルタイムの混雑状況の配信、複数人同時入館の検知などの機能を提供しており、全国の24時間運営のフィットネス／ウェルネス施設に導入されています。

近年、24時間運営のジムやセルフ型フィットネス施設の拡大に伴い、スタッフが常時／一部時間帯で常駐しない運営が一般的になる一方で、正規会員の入室／入館に合わせて非会員などが同時に入館してしまう「共連れ」が、施設のセキュリティ上の課題となっています。また、本来であれば会費を支払って利用すべき非会員などが設備を不正利用することで、施設運営者にとってビジネス上の機会損失や収益損失が発生するという課題もありました。

これらの課題に対して、両社では、Akerunの解錠ログによる「誰がいつ解錠（入室／入館）したか」という情報と、GYM DXの人数検知による「実際に何人が入室／入館したか」という情報を自動連携させることで、施設運営者が「共連れ」の発生を正確に把握し、具体的な対策を取れるよう支援することを目的に、AkerunとGYM DXのAPI連携機能を提供する運びとなりました。

この連携により、施設運営者は、スタッフが常駐していない時間帯でも「共連れ」の発生状況を客観的なデータとして確認できるようになり、注意喚起や課金の案内、会員規約に基づく対応など、これまで把握が難しかった非会員などによる不正利用を可視化することで、適切な課金や注意喚起が可能になります。

＜連携機能*の詳細＞

1. **Akerunの解錠ログとGYM DXのAI人数カウントの自動照合による「共連れ」の検知**
   Akerunで解錠が行われたタイミングで、GYM DXのAIカメラが識別した実際の入館人数をほぼリアルタイムに照合します。1回の解錠に対して複数名の入館が検知された場合に「共連れ」の可能性があるものとして自動でスクリーニングされるため、人手による映像の目視確認が不要になり、「共連れ」を効率的に把握できます。

2. **非会員による不正利用の可視化**
   「共連れ」が検知された記録は、発生した日時や店舗、解錠を行った会員の情報とあわせて確認でき、これまで気付きにくかった非会員などによる不正利用が可視化されることで、施設運営者は適切な課金の案内や注意喚起、繰り返し発生する場合の対応など、具体的な対策につなげることができます。

3. **無人・省人運営におけるセキュリティと収益性の強化**
   施設内の状況を完全に把握することが難しかった、スタッフが常駐しない時間帯を設けているジムなどでは、無人・省人運営の時間帯における入室／入館の状況を継続的かつ自動的に確認できるため、会員が安心安全に利用できる施設環境の整備と、会費収入の適正化による収益性の向上を同時に実現できます。

* AkerunとGYM DXの連携機能のご利用には、別途「Akerun」および「GYM DX」のご契約が必要です。



フォトシンスでは、今後もあらゆる施設の運営効率化とスマート化を実現する、Akerunを起点とした無人化・省人化ソリューションの提供を積極的に推進するとともに、フィットネス施設をはじめとするあらゆる空間における安心安全な入退室管理とビジネス機会の最大化など、様々なニーズに応える機能強化や連携サービスの拡充を推進します。

【株式会社Opt Fitについて】

株式会社Opt Fit（https://optfit.jp/）

設立：2020年3月16日

代表取締役CEO：渡邉昂希（わたなべこうき）

本社：愛知県名古屋市中村区名駅3丁目2-22 エスカ名駅東ビル401

営業拠点：東京都新宿区新宿1-23-1 THE PORTAL 新宿御苑 3F

▼ジム専用防犯カメラソリューション

GYM DX ：https://gymdx.com/

【株式会社Photosynth（フォトシンス）について】

ミッション「つながるモノづくりで感動体験を未来に組み込む」、ビジョン「人手に依存しない、自律型の物理空間で、社会を自由化する。」を通じて、人手不足や労働力人口の減少などの社会課題の解決を目指して事業を推進しています。既存のドアにスマートロックを後付け設置するだけで鍵をクラウド管理できる「Akerun入退室管理システム」をはじめとしたAkerunブランドのオフィス／住宅向けのクラウド型IoTサービスに加えて、様々な空間の管理運営の効率化を支援する施設運営BPaaSサービス「Migakun（ミガクン）」

や無人化・省人化に特化したクラウド型顧客管理・決済システム「fixU（フィックスユー）」を子会社を通じて提供しています。オフィスや商業施設などあらゆる物理空間における人手不足の解消や無人化／省人化を実現する様々なサービスにより、規模を問わないあらゆる業種、業態の企業の課題解決を支援します。
https://photosynth.co.jp/

【Akerunについて】
「Akerun」は、あらゆる鍵をクラウド化し、利便性やセキュリティを向上する、スマートロックを活用したクラウド型IoTサービスです。あらゆる扉がインターネットにつながることで、様々な場所やシーンへのアクセス管理を実現します。
Akerunブランドの主要サービスである法人向け「Akerun入退室管理システム」は、既存の扉に後付けで導入でき、スマートフォンやICカードでの施解錠やクラウド上での鍵の権限管理・入退室管理が可能になります。
サービスサイト：https://akerun.com/

＜本件に関する報道関係者のお問い合わせ先＞
株式会社Photosynth
広報
pr@photosynth.co.jp